

令和7年11月29日

総務大臣 殿

住所 米子市法勝寺町70番地
会社名 株式会社DARAZコミュニティ放送
代表者 代表取締役 富田 寛

放送番組審議会議事録の提出について

標記について、放送法施行令第8条第1項第3号の規定により、下記の書類を添えて提出します。

記

- ・ 番組審議会議事録（第 89 回、令和 7年 11月 20日開催）

《別紙》

1 開催年月日 令和7年11月20日（木）

2 開催場所 鳥取県米子市法勝寺町 70 番地 DARAZ CREATE BOX 2階会議室

3 委員出席

委員総数 5名

出席委員数 3名

出席委員の氏名 石賀 治彦 委員

藤原 幹人 委員

永見 真澄 委員

欠席委員の氏名 石倉 准次郎 委員

亀井 智子 委員

放送事業者側出席者 代表取締役社長 冨田寛

番組制作業務部 永富久之

4 議題

○ 番組についての審議

5 議事の概要

2つの番組を審議対象番組として取り上げ、それについて各委員からの忌憚ない意見をいただき、今後の番組制作・放送局運営の参考とさせていただく。

6 審議内容

① 番組名：「ひるまえ SwitCHEER（10月29日放送分）」

放送日時：毎週月～木曜日 10:30～12:00（生放送）

出演者：めぐ、米子工業高校生徒

内容：10月28日～30日の3日間、県立米子工業高校 情報電子科2年生の生徒3人が職場体験でラジオ局の仕事を体験されました。パソコンでの作業や音源の編集などのほかに、3日間とも生放送の1コーナーに出演しフリートークにも挑戦しました。

<石賀委員>

・いい試みだと思う、職場体験だけじゃなくコミュニティスクールの活動として中学生や高校生が出演できる機会を作ったかどうか。いい経験になるし将来の進路選択の助けにもなるのでは

<永見委員>

・3日間ではひな形に沿った進行にしかないのでは、職場体験に来る前から、学生に体験内容を投げかけて1コーナー任せてみてもいいのでは

<藤原委員>

・自身の施設でも職場体験を受け入れているが、受け入れる側も相当な労力がある
・子供たちにとってはいい体験になると思うが、事業者側の負担を減らすためにも、もっと学生に任せてもいいのではと思う

② 番組名：「NOK Group Presents 鳥取から世界へ！TVCものづくりラジオ」

放送日時：毎月第1金曜日 18:45～19:00（録音放送、月1回更新）

出演者：ARISA、TVC株式会社の社員のみなさん

内容：鳥取県南部町にある企業「TVC」で働く方々をゲストにお迎えして、お仕事の内容やご自身のワーク・ライフ・バランスについて、それからTVCが取り組んでいる地域活動などをご紹介していく番組です。10月から「ひるまえ SwitCHEER」木曜担当に就任したARISAさんが進行役を務めています。

<藤原委員>

・アリサさんの話の引き出し方が非常にうまい
・タイトルが長くて一体何の会社なのかかわからなかった、NOKなのかTVCなのか
・「ものづくりラジオ」の割にはトークの内容にモノづくりがあまり見えない、コーナーとして技術的な話があってもいいのでは

<永見委員>

- ・確かに番組名が内容に織り込まれていないが、冒頭にコンセプトの説明があり、そのコンセプト通りに進行されていた
- ・それぞれの話題に興味をそそられ、会社を検索する行動に至った
- ・社員の方もイキイキとお話しされていて一度行ってみたいと思った

<石賀委員>

- ・TVやラジオの企業PRはこうやるべきといういい例、社員さんが心から“いい会社”と言っているのがわかるのでよいPRになっていると思う
- ・ワークライフバランスがとれていることを伝えるのはラジオだからできる

7 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

特になし

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

事務所に備え置き 令和7年 11月 30日

ホームページに掲示 令和7年 12月 05日

9 その他参考事項

特になし